

『麻生区福祉学習ガイドブック』 を活用してみよう！

麻生区社会福祉協議会では、区内の福祉学習推進のために協議・検討を行い平成17年度に『麻生区福祉学習ガイドブック』を作成致しました。このガイドブックには区内の様々な福祉施設・当事者団体・ボランティア団体等からご協力をいただいております。地域全体で福祉学習に取り組んでいけるようなネットワーク作りを行っております。

ガイドブックをご利用いただくことによって、学習希望者へのスムーズな情報提供を行うと共に、学習希望者のニーズと地域の受入側のニーズを調整し、有益な学習となれるような取り組みをしております。



福祉学習希望者

- ・情報の収集
- ・福祉学習の依頼・申込
(麻生区社協または福祉施設へ)



麻生区社協(ガイドブック)

- ・情報の収集、提供
- ・プログラム相談
- ・機材の貸出
- ・講師、活動の調整 など

福祉施設、当事者団体 ボランティア団体

- ・情報の提供
- ・福祉学習への協力
(講師派遣、
見学・体験受入)



地域(関係図)

福祉学習とは？

体験だけでなく、
日々の生活場面に結びつけて
考えてみよう！

福祉学習とは、福祉の知識や技術の習得、体験に終始するものでなく、自分たちの地域に目を向け、地域を知り、そこに住む人を知ることから始まります。

そして、地域の問題を他人事でなく自分の問題として捉え『誰もが住みやすいまち』について考えていくことが大切です。

さらに、地域には様々な人が暮らしています。そのことに気付き、お互いを理解し多様性を認め合い、支えあい、共に同じ地域で暮らしていく仲間として、みんなの幸せについて考えていくことが最終的な目的です。



福祉学習についてご相談ください！



麻生区社協では、福祉の学習に関するご相談に応じ、様々なお手伝いをしております！

※講師や貸出教材の調整などは時間が必要です。原則2ヶ月前から余裕を持ってご相談ください。

★ご利用できる方

麻生区に在住・在学・在勤の
福祉学習を希望される団体

★ガイドブックの活用内容

- ①学習プログラムについての相談
- ②学習にご協力くださる講師・団体の紹介
- ③福祉についての情報提供
- ④福祉教材の貸出



【問合せ先】

社会福祉法人川崎市麻生区社会福祉協議会

電話：952-5500 FAX：952-1424

学校で、町会・自治会で、職場で…
福祉の学習をしたいけれど、どんな
ことをしたら良いのかな？





『麻生区福祉学習ガイドブック』 ～ご利用の流れ～

①企画

どのようなことをどのような手段・流れで学びたいのか学習計画を立てる。



わからないことやお困りのことがありましたら社協へご相談ください。企画段階からご相談に応じています。

②依頼・申込（原則：2ヶ月前）

企画ができれば、「いつ・どこに・どのような内容」で依頼をするのかを決める。電話連絡の上、様式『申込書』に記入をし、申込む。
（※連絡方法を確認の上、社協・施設へ）
（※受入先の都合も考え、余裕を持って申込みましょう）



【ポイント①】
区内でどのような学習が可能なのか参考にお使いください。
★福祉施設での学習・体験
★学びたい分野がある
★講師派遣・体験・交流等
依頼内容が決まっている等々・・・

③-1 社協に依頼

社協→施設・団体との調整をし、申込者へ連絡
申込者→受入施設・団体と連絡、事前打合せ

③-2 施設への依頼

施設の受入担当者と事前の打合せ

④事前学習

当日の学習に向けて行っておくと、有意義な学習になります。

【ポイント②】
講師や体験先と事前に十分な打合せを行い、学習の目的等共通認識を持っておくことが大切です。

⑤当日の学習・体験等の運営

事前の打合せに沿って、事故がないよう細心の注意をはらって学習を取組みましょう。

⑥事後学習・まとめ・事後報告シートの提出

学習を行って終了ではなく、事前学習から当日までを振り返り、得た体験や思いをまとめ、みんなで共有しましょう。また、今後の福祉学習推進に活かすため、様式『事後報告シート』に記入をし、社協へ提出をしてください。

【問合せ先】

社会福祉法人川崎市麻生区社会福祉協議会 電話：952-5500 FAX：952-1424